



田村市立都路中学校 学校だより 第8号

平成30年 7月27日(金)
発行責任者：校長 田中 淳一
TEL：0247-75-2009

めざす生徒像：自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

めざす学校像：志を育む学校 学び合い、高め合う学校 信頼され、愛される学校

県中学校体育大会バレーボール競技



7月23日(月)、第61回県中学校体育大会バレーボール競技が会津若松市において開催されました。本校バレーボール部は、2年連続の県大会出場権を見事獲得し、本大会に臨みました。とりわけ昨年からは、市内外・県内外の中学校・高校を相手に試合経験を重ね、技術のみならず、ピンチになっても動じない気持ちの強さを身に付けてきました。県大会では、昨年突破することのできなかった県大会1回戦の壁を打ち破り、2回戦に駒を進めましたが、本大会優勝校の福島第三中学校に惜敗しました。勝負には敗れましたが、粘り強いプレーが随所に見られる試合展開となり、試合後の選手の表情からは達成感がうかがえました。酷暑の中、遠路はるばる応援に駆けつけてくださった保護者・ご家族・地域の皆様、温かいご支援を賜りました関係の皆様、心より感謝申し上げます。

バレーボール部	1回戦：都路中（県中3位）	2	—	0	原町二中（相双2位）
	2回戦：都路中	0	—	2	福島三中（県北1位）



ピザ釜づくりに参加

本校生徒が、都路で研究活動をしている桜美林大学の学生さんと、ピザ釜づくりを



しています。8月3日(金)には、いよいよ完成、火入れ、試食会が開催されます。大学生の皆さんには、夏休み中に実施される学習会でも、生徒たちが勉強を教えてもらう予定です。本校生徒には、多様な人たちとの出会いと交流の機会が必要です。今後も、大学生や地域の皆さんとの交流の機会を積極的につくっていきます。

夏休み前全校集会で全校生へ伝えたこと



明日から 37 日間の夏休みが始まります。とりわけ 3 年生にとっては中学校最後の夏休みです。「夏休みにもっと努力しておけばよかった。」と後悔することのないように、自分をマネジメントしてください。1・2 年生にとっても、テレビやゲーム、スマホなどの誘惑が普段よりも多い環境の中で、家庭学習（夏休みの課題＋自主学習）に取り組んでいくことになります。だからこそ、「自分の課題を知る⇒自分の課題にそった目標や計画を立てる⇒計画にそって主体的に学習する⇒学習の結果や取組を振り返る⇒学習の内容・方法を見直し、実行する」サイクルをつくってください。また、普段よりも自由に使える時間が多い夏休みにこそ、読書をして、頭や心に豊かな栄養をたっぷり蓄えてください。

オックスフォード大学の研究チームは、AI（人工知能）の導入によって、10 年後～20 年後には、現在ある職業の約半数が消滅し、働く人々の 47%が現在の仕事を失う危機にさらされると予測しています。また、2030 年の日本では、現在の労働人口の 49%が、AI やロボットなどで代替可能になるとも言われています。AI は、何万というビッグデータをインプットし、統計に基づく機械的な学習によって、意味は考えず、正しさは保証せず、でも結構正しい答えを導き出すロボットです。東京大学に合格することを目指して開発された AI ロボット「東ロボくん」は、大学入試の数学だけならば、偏差値 76.2 という東大医学部に合格できるレベルのスコアを叩き出しました。

では、私たちが AI に仕事を奪われないためには、どうすればいいのでしょうか。AI によって、人間が不幸にならない唯一の道は、リアルな読解力と状況判断力を身に付けることです。自分に求められている役割やリアルな状況を読み取り、人間らしいコミュニケーション能力、AI には無い「一を聞いて十を知る」認知能力、柔軟な思考力・判断力・表現力などを生かして、決まった形にとられない発想力などを発揮することができれば、AI に仕事を奪われることはありません。これからの社会に求められているのは、与えられたものをただ消費するだけの人間ではなく、自ら創造できる人間です。スマホの中に入っている AI が案内してくれたレストランに行き、タブレットの中の AI が教えてくれた YouTube を見て、スマホの中の AI が薦めてくれた商品を買って満足している人は、AI に仕事を奪われる可能性が高いので注意してください。

「Technology will never replace love（科学技術は、愛に取って代わることはできない）」AI がどんなに進化しようとも、私たち人間は、このフレーズを忘れてはなりません。アメリカでスマホやゲームを開発している人たちは、我が子にスマホやタブレットを渡さないそうです。なぜならば、スマホ依存やゲーム依存が、考えたり感じたりする子どもの大切な時間を奪ってしまう怖さを知っているからです。また、スマホなどのデジタル機器が、人を消費者として飼いならすサービスだという意識があるからです。AI などの Technology がいかに進歩しようとも、様々な分野の人と直接会って話をしたり、本を読んで深く共感したり豊かに想像したり、ボランティア活動や自然体験活動などに参加したりすることは、人間の健全な成長には欠かせないことであるとともに、そのようなアナログ経験をたくさんすることが、AI によって不幸にならない道だと言えるのではないのでしょうか。



限られた時間の中で、来たるべき未来を見据え、今何に優先的に取り組むべきかを判断することが、私たちには求められています。この夏休みも、そして残りの中学校生活や人生においても、小さな殻や枠組みに閉じ籠もることなく、失敗を恐れずに自分からアクションを起こすこと、そう“Challenge”することです。勉強や部活動のみならず、皆さんの幅広い活躍を期待しています。